

関東ESD推進ネットワーク 第3回地域フォーラム

SDGs・ESDで ユースと創る未来

関東地方ESD活動支援センター（関東ESDセンター）

令和2年1月26日

持続可能な開発目標（SDGs）



SDGsは、

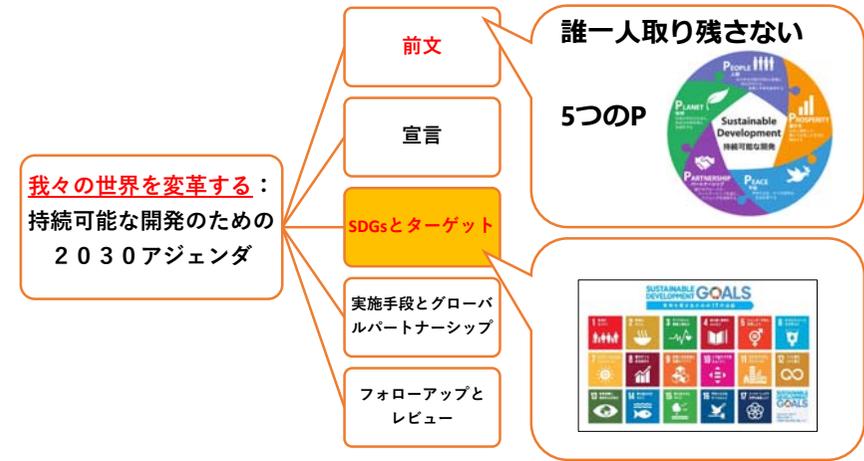
- ・ 2015年9月の国連総会にて、全加盟国の賛同により採択され、2016年1月1日に正式に発効
- ・ 2030年を達成期限とする
17のゴール
169のターゲット
約230の指標
- ・ 先進国、途上国すべての国を対象とする
普遍的な目標

<p>1 貧困をなくす あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。</p>	<p>7 クリーンエネルギー すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。</p>	<p>13 気候変動へのアクション 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。</p>
<p>2 飢餓をなくす 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。</p>	<p>8 デイゼントワークと経済成長 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。</p>	<p>14 海洋資源 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。</p>
<p>3 健康と福祉 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。</p>	<p>9 産業・技術革新・社会基盤 強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。</p>	<p>15 陸上資源 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を防止する。</p>
<p>4 質の高い教育 すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。</p>	<p>10 格差の是正 各国内及び各国間の不平等を是正する。</p>	<p>16 平和、正義、有効な制度 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを確保し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。</p>
<p>5 ジェンダー平等 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。</p>	<p>11 持続可能なまちづくり 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する。</p>	<p>17 目標達成に向けたパートナーシップ 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。</p>
<p>6 水と衛生 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。</p>	<p>12 持続可能な消費と生産 持続可能な生産消費形態を確保する。</p>	

SDGsがつけられたプロセス



持続可能な開発のための2030アジェンダ



SDGsのポイント

1. 普遍性: 先進国を含め、**全ての国が行動**
2. 包摂性: **誰一人取り残さない**
3. 参画性: **全てのステークホルダー**が役割を
4. 統合性: 経済・社会・環境に**統合的に取り組む**
5. 透明性: **定期的にフォローアップ**

5つの要素 “5P”





※出典…新インテリクス研究所より資料提供

SDGs "wedding cake" illustration presented by Johan Rönnerblom and Rikard Sjöström

2015年に世界で起こったこと

9月 国連総会において、持続可能な開発のための2030アジェンダ (SDGs含む) 採択

= **Transforming our world**

9月 年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) が国連責任投資原則に署名 = **ESG投資**

12月 国連気候変動枠組条約第21回締約国会議 (UNFCCC-COP21) において、パリ協定採択

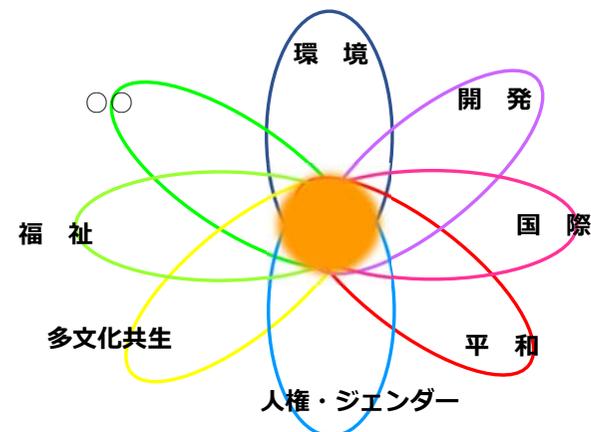
= **化石燃料文明をやめ、新文明を作る**

Education for ~のための教育
Sustainable ~持続可能な
Development ~開発・発展

持続可能な開発のための教育

「持続可能な開発のための教育(ESD)」は、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等、人類の開発活動に起因する現代社会における様々な問題を、各人が自らの問題として主体的に捉え、身近なところから取り組むことで、それらの問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、もって持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動である。【ESD国内実施計画より】

○○教育の接点 = ESD



ESDの特徴

多様なテーマを
総合的に扱います

問題の多くは、様々な要素が密接に関わりあっています。
それらのつながりを考え、具体的な問題解決に結びつけます。



ESDの特徴

ESDの対象は子ども
だけではありません

学校、企業、地域住民、行政、NPO・・・
多様な立場や世代の人々がESDの担い手であり、
学び手です。



「協働」する意識
・適切な役割分担
・対等な立場
・相互に協力
=お互いの強みを
活かして、同じ課
題を共有し、協力
し合う
=持続可能な社会

ESDの特徴

「教える」教育で
はありません

具体的な課題・問題を解決するために考え、話し合
い、行動しながら学ぶ学習活動です。



「気付き」を大切
にする
・ どうして？
・ 誰が？
・ どこで？
・ どうしたら？

ESDの特徴

未来を描くこと

地域の歴史や現実を学び、そこから自分たちが望む
未来を描くことから始まります。



50年後も、
100年後も、
自分の子どもも、
孫も、そのまた
子どもも、
ずっとこの地域で
暮らすために

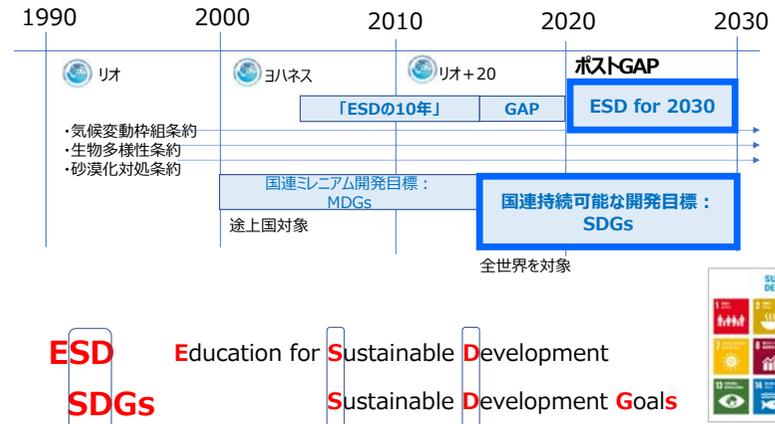
「SDGs」と「ESD」

・教育はSDGsの目標4に位置付けられており、ESDは目標4の中のターゲット4.7に記載されています。しかし、教育については、「教育が全てのSDGsの基礎」であり、「全てのSDGsが教育に期待」している、とも言われています。特に、ESDは持続可能な社会の担い手づくりを通じて、17全ての目標の達成に貢献するものです。ですから、ESDをより一層推進することが、SDGsの達成に直接・間接につながっています。また、SDGsを、ESDで目指す目標が国際的に整理されたものとして捉えることもできます。



持続可能な開発のための教育（ESD）の更なる推進に向けて
～学校等でESDを実践されている皆様へのメッセージ～
文部科学省 日本ユネスコ国内委員会教育小委員会

ESDの今、これから



ESD Education for Sustainable Development
SDGs Sustainable Development Goals



ESD for 2030 2019年12月19日国連総会において採択

・ESDが質の高い教育に関するSDGに必要不可欠な要素であり、その他の全てのSDGsの成功への鍵として、ESDはSDGsの達成の不可欠な実施手段である。

・国際社会に対し、幼児教育から高等教育、遠隔教育、職業技術教育まで、すべての教育段階において包摂的かつ公正な質の高い教育を提供するよう求める。

・「ESD for 2030」では、引き続きGAPの優先行動5分野（1. 政策的支援、2. 機関包括型アプローチ、3. 教育者、4. **ユース**、5. 地域コミュニティ）の下、様々なステークホルダーで構築される1つの包括的ネットワークの構築や、優先行動5分野のパートナーネットワークを越えた横断的活動・協力の強化を奨励。

学習指導要領の改訂

■ 前文（幼・小・中）

これからの学校（幼稚園）には、一人一人の生徒（幼児・児童）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようになることが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが、各学校（幼稚園）において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程である。

平成29年3月31日公示 新学習指導要領

ESD推進ネットワークは

ESDの広がりと深まりを通じて
地域の課題の解決と教育の質の向上。
SDGs達成に向けた意識・行動変革を進めます。

持続可能な社会を目指して



持続可能な開発目標 (SDGs)

地域ESD活動推進拠点(地域ESD拠点)
地域におけるESD活動の推進窓口として、地方センターや他の地域ESD拠点と連携し、ESD活動を支援したり、これらからESDを進めようとする活動主体に働きかけます。
地域コミュニティや学校、市区町村、都道府県、広域ブロックなど様々な活動拠点を担う組織・団体(教育関係、学術研究機関、メディア、企業、地方自治体、行政、その他)が、地域ESD拠点となり、得意分野を活かした実践やコーディネート、学習合いの場づくりを行います。

学校、地域、職場などで
ESDに取り組んでいる多様な実践主体
(ESD活動の現場)

ESDに取り組もうとしている
多様な主体(潜在的な活動主体)

ESDを広めるため、深めるための働きかけ・支援

多岐・多様・複層的な
地域ESD活動推進拠点
(地域ESD拠点)

ニーズ・成果共有

ESD活動支援センター
地方センター(全国8か所)
+
全国センター

ESD推進に取り組む
組織・団体と
協力・連携します。

地方ESD活動支援センター(地方センター)
全国センターや地方自治体、地域ESD拠点等との連携のもと、主に以下の機能を果たすことで、ESD推進ネットワークの広域的なハブ機能を果たします。
1. ESD活動を支援する情報共有機能
2. 現場のニーズを反映したESD活動の支援機能
3. ESD活動のネットワーク形成機能
4. 人材育成機能、等

① ESD活動を支援する情報共有機能

<http://kanto.esdcenter.jp/>

ホームページでは、関東地域で開催されるESD/SDGs関連の情報を中心に、各地で開催された行事を取材したレポートや、当センター主催の勉強会、ESDに関する地域の活動拠点などについて、情報提供をしています。



【イベント・ニュース】



2018.12.13 イベント・ニュース
持続可能な開発目標ってなに？
SDGsから読み解く、未来に向けた持続可能な社会づくり
○日時：平成31年2月9日(土) 13:30~17:00
○場所：コンセーレ(栃木県青年会館・栃木県宇都宮市)
○主催：NPO法人栃木県環境カウンセラー協会



2018.12.13 イベント・ニュース
COP24：国連気候会議 - 何が重要で、何をしておく必要があるか？
国連広報センターが、UN News 特集記事・日本語訳として、今年ポーランドで開催されたCOP24の背景資料を公開。



2018.12.13 イベント・ニュース
「日本の気候変動対策支援イニシアティブ2018」の発表
環境省は、COP24における実施計画の策定等の合意を後押しするため、気候変動分野における日本の国際協力に関するビジョンと具体的な取組を取りまとめた「日本の気候変動対策支援イニシアティブ2018」を発表し、COP24で発表。



2018.12.13 イベント・ニュース
第3回 栃木ESD勉強会「サンバの星の取り組み」
○日時：平成30年12月15日(土) 14:00~17:00
○場所：宇都宮市民プラザ 多目的ホール(栃木県宇都宮市高橋通り)
※平成30年度 環境省 環境教育・学習拠点における「ESD推進」のための実践拠点支援事業



2018.12.13 イベント・ニュース
女性誌初のチャレンジ！FRAU2019新年号のテーマは「SDGs」
自身にとっての「世界を変える、はじめかた」を見つけてほしい、そして行動につなげてほしいと願い、FRAU(発行：株式会社講談社)新年号では、国内女性誌では初めての、一冊丸ごとSDGsを特集(12/20発売)

【イベント・レポート】

2018.02.28 イベント・レポート
【告知】多様な主体の力を活かすソーシャル・プロジェクト環境エネルギー・ラボ2018-1開催



イベント名 環境エネルギー・ラボ2018(告知)発表会
開催日 平成30年12月21日(土) 15:00~17:00(告知発表会)
平成30年12月22日(日) 10:00~17:00(告知発表会)
会場 第1会場 神奈川文化会館(横浜) 第2会場 三軒茶屋(東京都世田谷区)
主催 環境省、環境エネルギー・ラボ2018実行委員会

本企画は、環境省(所管)、国連大学国際教育センターが主催する第2回環境エネルギー・ラボが、2018年度実施計画の策定等の合意を後押ししました。今年も引き続き本企画を開催し、多様な主体の力を活かすプロジェクトの推進を促します。おかげさまで1,000名を超える参加者となりました。参加者アンケートより、参加者同士の交流やソーシャル・プロジェクトの推進を促す効果がありました。



② 現場のニーズを反映したESD活動の支援機能



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

本企画は、SDGsに興味のある生徒を集め、協働しての実践・発表の場を設けるものです。SDGsに興味があっても周囲に仲間がいない生徒や、関心があっても学ぶ機会が与えられていない生徒に、積極的にSDGsに関わる場所を提供していきます。

第1回	7/27(土)	GEOC@国連大学	キックオフミーティングを行い、問題意識や興味がある分野の共有を行う
第2回	8/24(土)	中目黒GTタワー前広場	市民や大学生との対話を通じ、SDGsの課題とその解決方法をブラッシュアップする
	8/25(日)	東京大学 駒場国際教育研究棟	中高生がそれぞれ課題解決のアイデアを持ち寄り、文化祭に向けたチームを作りSDGsプロジェクトを固めていく
第3回	11/16(土)	聖心女子大学 聖心グローバルプラザ プリント記念ホール	任意のグループで取り組んだ実践と提案を発表

③ ESD活動のネットワークの形成機能

地域ESD活動推進拠点（地域ESD拠点）登録制度

学校現場・社会教育の現場では、さまざまな主体が地域や社会の課題解決に関する学びや活動に取り組んでいます。

そうした現場のESDを支援・推進する役割を担う組織・団体を「ESD推進ネットワーク」における「地域ESD活動推進拠点」（地域ESD拠点）として登録することができます。

③ 関東地方の地域ESD拠点

- 【茨城県】 認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ/キャンノンエコテクノパーク
- 【栃木県】 NPO法人エコロジーオンライン/NPO法人栃木県環境カウンセラー協会
- 【群馬県】 チャウス自然体験学校（NPO法人 チャウス）/サンデンフォレスト（サンデンファシリティ株式会社） /きりゅう市民活動推進ネットワーク
- 【埼玉県】 筑波大学附属坂戸高等学校
- 【千葉県】 特定非営利活動法人環境パートナーシップちば
- 【東京都】 新宿ユネスコ協会/成蹊学園サステナビリティ教育研究センター
立教大学ESD研究所/多摩大学アクティブ・ラーニング支援センター
NPO法人新宿環境活動ネット/聖心女子大学グローバル共生研究所
晃華学園中学校高等学校
- 【神奈川県】 認定NPO法人アクト川崎/NPO法人横浜市民アクト
- 【新潟県】 学校法人 日本自然環境専門学校/公益財団法人 鼓童文化財団
新潟市水族館マリンピア日本海/一般社団法人あがのがわ環境学舎
- 【山梨県】 公益財団法人キープ協会
- 【静岡県】 特定非営利活動法人アースライフネットワーク
伊豆半島ジオパーク推進協議会・教育部会【12月末現在】全国：109件・内関東：25件

③ ESD活動のネットワークの形成機能

地域意見交換会in新潟 「ESDの今、これから」

- 日時：令和元年9月23日（月・祝）
- 第一部：10:30～12:30、第二部：13:30～16:30
- 場所：新潟県立環境と人間のふれあい館
- 新潟水俣病資料館 -
- 主催：関東地方ESD活動支援センター
- 共催：学校法人専修学校 キャリアテクニカ学園
日本自然環境専門学校
- 後援：新潟県、新潟市
- 発表：
 - ・学校法人専修学校 キャリアテクニカ学園
日本自然環境専門学校
 - ・新潟市水族館マリンピア日本海
 - ・公益財団法人 鼓童文化財団
 - ・一般社団法人あがのがわ環境学舎



③ ESD活動のネットワークの形成機能

地域ESD拠点意見交換会

- ・日時：令和2年1月26日（日）10:00～12:00
- ・場所：東京ウイメンズプラザ 視聴覚室
- ・参加者：関東地方の地域ESD拠点：12団体

【次第】

- ・地域ESD活動推進拠点の経緯、最近の状況
- ・拠点の活動紹介共有
- ・ワークショップ
 - （1）地域ESD活動推進拠点の展開の可能性について
 - （2）関東ブロックとしてやるべきこと



写真は昨年度の模様

③ ESD活動のネットワークの形成機能

関東ESD推進ネットワーク第3回 地域フォーラム

SDGs・ESDで ユースと創る未来

【開催概要】

- ・日時：令和2年1月26日（日）13:00～16:30
- ・場所：東京ウィメンズプラザ ホール・視聴覚室
（東京都渋谷区神宮前5丁目53-67）
- ・対象：SDGs、ESDにご関心のある行政、NPO、学生
（小中高大）、企業の方など
- ・定員：100名
（無料・要申込、懇親会参加費：1,000円）



写真は昨年度の
模様

④ 人材育成機能

「みんなの広場 第4回“環境”って何？
「基礎編」～SDGsについて学ぶ」
平成31年4月19日（金）
ほどがや市民活動センター（アワーズ）

「SDGsと非営利組織 中間支援
スタッフ研修」
令和元年11月7日（木）
ふじのくにNPO活動センター

「環境教育インストラクター応募資格取
得セミナー」
かながわ環境カウンセラー協議会主催
令和元年12月7日（土）
かながわ県民センター



本日の目的

- ・今日取り上げる事例は、地域ESD拠点で実践されているSDGs達成に貢献する取り組みです。
- ・そうした取り組みをどうやって**全世代型に広げていくか**を考える場にしたいと思います。
- ・SDGsは、よりよい未来のための取り組みであり、ユース世代はまさに未来の担い手です。
- ・今後、SDGsを推進するには、**ユースと一緒に作っていく**プロセスが重要です。

本日の目的

- ・事例発表に続いて、SDGs文化祭に参加したユースの方から、SDGsについての感じたこと、SDGsの達成に必要なと思うことを話していただきます。
- ・分科会では、事例発表の取り組みとユースの意見を参考に、**自分たちの地域で、ユースとともに、どう取り組むか**、を話し合います。

「ユースと創る未来」を皆さんで考え、皆さんの地域で、**具体的に実践するためのヒント**を得る1日にしましょう！